【報道資料】

令和６年８月２７日　　奈良県田原本町

学術変革領域研究(A)「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来（代表：中川毅）

唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクトについて

田原本町と山形大学は協定を結び、唐古・鍵遺跡に関する研究を行います。本プロジェクトは、唐古・鍵遺跡の発掘調査や福井県水月湖に堆積した年縞などを通して、気候変動のメカニズムと過去の文明に及ぼした影響、そして現代社会に及びつつある影響を分析し、持続可能な未来に貢献することを目指します。

記

■　プロジェクト名　　唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト

■　期　　間　　令和６年度～令和 10 年度

■　事 業 内 容

・唐古・鍵遺跡での発掘調査

・唐古・鍵遺跡出土土器に付着した炭化物の C14 年代測定　など

■　研 究 主 体

学術変革領域研究(A) 24A101「「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来」（代表：中川毅）及び学術変革領域研究(A) 計画班 24H02191「人は「暴れる気候」にどう対応したか―年縞研究と日本考古学とのコラボレーション―」（代表：工藤雄一郎）

【報道資料】 **資料６**

（関連事業）

■　講　演　会

・日時　　9 月 22 日（日）午後 1 時 30 分～午後 4 時 15 分

・場所　　田原本青垣生涯学習センター２階　研修室

・内容　　（基調講演）古代の人々が手に入れた「おだやかな」暮らし

－ 年縞から見えてくる「人間にとって切実な」気候変動 －

中川　毅（立命館大学・教授）

（講演①）世界一の年表を唐古・鍵遺跡から

大森　貴之（東京大学・特任研究員）

（講演②）唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクトの概要

白石　哲也（山形大学・准教授）

・定員　　80 人（申込不要　先着順　聴講無料）

・主催：学術変革領域研究(A) 計画班 24H02191「人は「暴れる気候」にどう対応したか ―年縞研究と日本考古学とのコラボレーション―」(代表：工藤雄一郎)、共催：田原本町

■　唐古・鍵考古学ミュージアム展示

令和６年９月 10 日より、本プロジェクトに関連した展示を、田原本青垣生涯学習センター２階の唐古・鍵考古学ミュージアムで行います。本プロジェクトに関連した唐古・鍵遺跡の資料や、福井県水月湖の年縞、中南米アグアダ・フェニックス遺跡の 3D 模型展示など、プロジェクトの内容を分かりやすく展示します（ミュージアム入館は有料）。

この件に関するお問い合わせ先

・関連事業（講演会・ミュージアム展示）について

田原本町教育委員会事務局文化財保存課　TEL：0744-32-4404

・気候変動プロジェクトについて

山形大学 白石 哲也　Mail：tshiroishi@cc.yamagata-u.ac.jp